

グローバル社会論 I

科目ナンバリング SOC-311

選択 2単位

中谷 直司

1. 授業の概要(ねらい)

国際社会(英語にすればInternational Society; International Community; Global Community等々)とは何か。この質問に答えることは、通常考えられる以上に難しく、国際関係論の専門家にとっても容易ではない。国際社会は(おそらくかなり確実に)存在するのだが、それは曖昧で、多用で、我々が日常慣れ親しんでいる国内社会とも多くの点で異なるからである。

以上の問題意識のもと、グローバル社会論 I では伝統的な安全保障と戦争と焦点をあわせて、同テーマを理解するのに有用な4つのトピックを各3～4回で解説する。

具体的なトピックは以下の通り。その上で、国際社会がより安定し、平和で、かつ公正なものとなるためには、どのような問題を克服しなければならないのかを考察する。

1. 20世紀に入って出現した集団安全保障(国際連盟、国際連合)の特質と、より伝統的な枠組みである軍事同盟(集団防衛)の関係、2. 20世紀の二度の総力戦が、現代国際社会の基本的な性格に与えている影響、3. 結果的に70年以上に及ぶ「長い平和」を実現した冷戦の基本的な性格と、現在の国際社会の基本構造に及ぼしている影響、4. ヨーロッパ中心に国際秩序で、新しい大国としてアメリカが台頭した影響。

授業では講義だけでなく、グループおよび全体でのディスカッションの時間も設ける。また受講者が少数の場合は、課題の1つであるブックレポートの報告を授業中に行ってもらう。

2. 授業の到達目標

- (1) 国際社会の基本的な特徴と日本との相互関係を多角的に理解するための基本的な視角を、安全保障問題を中心に身に付ける。
- (2) 国際平和や正義、日本の対外行動を論じる際に、規範論(こうあるべき)と、事実評価(なぜこのような問題が起こるのか)を(まずは)区別して考えられるようになる。
- (3) 国際社会が、より安定し、平和で、かつ公正なものとなるためには、どのような問題を克服しなければならないのか、そのために日本が果たすべき(あるいはこれまでに、破壊的なものを含めて、果たしてきた)役割とは何かを、各受講生が考察できるようになる。

3. 成績評価の方法および基準

- ・授業参加30%(リアクションペーパーの内容; ディスカッションへの参加)
- ・ブックレポート30%
- ・期末試験40%

4. 教科書・参考文献

参考文献

- 添谷芳秀 『日本の外交——「戦後」を読みとく』 筑摩書房(ちくま学芸文庫)
植木千可子 『平和のための戦争論——集団的自衛権は何をもたらすのか?』 筑摩書房(ちくま新書)
木村靖二 『第一次世界大戦』 筑摩書房(ちくま新書)
ジョン・ダワー (猿谷要、斎藤元一訳) 『容赦なき戦争』 平凡社(平凡社ライブラリー)
村田晃嗣 『米国初代国防長官フォレスト——冷戦の闘士はなぜ自殺したのか』 中央公論新社(中公新書)
グレアム・アリソン(藤原朝子訳) 『米中戦争前夜——新旧大国を衝突させる歴史の法則と回避のシナリオ』 ダイアモンド社
フアリード・ザカリア 『アメリカ後の世界』 徳間書店
イアン・ブレマー(北沢格訳) 『「Gゼロ」後の世界——主導国なき時代の勝者はだれか』 日本経済新聞社
小川浩之、板橋拓己、青野利彦 『国際政治史』 有斐閣(有斐閣ストウディア)

5. 準備学修の内容

- ・毎回配付する資料を用いて、4回予定しているディスカッションに向けて、自分の考えをまとめる(具体的な指示は授業内で行う)。
- ・授業内容を踏まえて、各自ブックレポートの作成を進める(新書中心の課題文献リストを配付する)。

6. その他履修上の注意事項

- (1) 教科書は使用しない。講義では毎回レジュメを配付し、講義全体の構造・流れを各受講生が確認しやすくする。あわせて、関連するビデオ教材なども積極的に使用し、理解の促進を図る。スライド資料も適宜用いる。
- (2) 講義では毎回リアクションペーパーを配付し、授業に対する感想・質問を書いてもらう。質問については、2～3をピックアップし、次の授業冒頭で回答する。
- (3) 受講生の関心に応じて、進度や内容を一部調整することがある。

7. 授業内容

- | | |
|--------|------------------------------------|
| 【第1回】 | 国際社会とはどんなところか——その基本的な性格と来歴 |
| 【第2回】 | 集団安全保障と集団自衛1——国際連盟と国際連合がめざしたもの |
| 【第3回】 | 集団安全保障と集団自衛2——日本外交史にみえる「同盟のディレンマ」 |
| 【第4回】 | ディスカッション1——国連と同盟には何ができるか |
| 【第5回】 | 総力戦と現代世界1——「遅れてきた」平和主義国家・日本 |
| 【第6回】 | 総力戦と現代世界2——1つの国際社会・3つの国際政治 |
| 【第7回】 | ディスカッション2——戦争は日本社会をどう作りかえたか |
| 【第8回】 | インターミッション——20世紀の国際社会と戦争(映像資料視聴) |
| 【第9回】 | 冷戦1——なぜ始まったか/日本への原爆投下と冷戦開始をめぐる論争 |
| 【第10回】 | 冷戦2——なぜ安定したか/「長い平和」は世界と日本に何をもたらしたか |
| 【第11回】 | ディスカッション3——新しい冷戦はやってくるか(やってくるのか) |
| 【第12回】 | アメリカ1——新しい(超)大国は世界をどう作りかえたか |

- 【第13回】 アメリカ2——"覇権国"アメリカなき国際秩序を考える
- 【第14回】 ディスカッション4——アメリカ後の世界を予測する
- 【第15回】 講義の総括と全体討論